



227

この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2024年9月8日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

「切り裂きジャック事件」の今

8日(日)=1、3面



1888年8月、最初の犠牲者が遺体で見つかったダーウオード・ストリートの現在

19世紀末のロンドンを震撼させた「切り裂きジャック事件」。5人の女性が次々と刺殺され、重要事件として捜査されましたが犯人はようとして知れず、真相は闇の中です。

「切り裂きジャック」を名乗る人物からの手紙が通信社に届くなどして大々的に報道

されたため、「劇場型犯罪」の元祖とも言われます。容疑者については100人以上の名前が挙がっており、刃物の扱いに長けた職業の者、王族の関与、さらには「シャーロックホームズ」を書いた作家の Conan・ドイルなどさまざまです。また、当時の関係者の子孫が現在

も真相究明を続けています。

当時のロンドンには、大英帝国発展の闇の部分として、貧困や差別、捜査側の怠慢や治安強化といった問題があり、現在の社会と通じる点がありました。

誰もが知る切り裂きジャック事件の「今」に迫ります。

論点 五輪とジェンダー

11日(水)=オピニオン面

8月11日に閉幕したパリ五輪では、ボクシング女子の2選手について、トランスジェンダーと決めつけた中傷が世界的に広がりました。前年に行われた不確かな性別検査の結果も、その拡散に拍車をかけました。

スポーツとジェンダーを巡る課題に詳しい井谷聡子・関西大准教授＝写真＝は、この問題の根底に政治的思惑や、「トランスジェンダー女性」に対する差別があると指摘します。



特集 ワイド 「エイジズム」を乗り越えて

9日(月)=夕刊2面

年齢を理由とした差別や偏見は「エイジズム」と呼ばれています。また、東京都知事選でその名を広めた元広島県安芸高田市市長の石丸伸二氏が、居眠りしていた市議を「恥を知れ」と追及する動画が拡散された

背景には、「高齢者フォビア（嫌悪）」があるという指摘もあります。

9月16日は敬老の日。エイジズムや高齢者フォビアを乗り越えて、どう高齢者と向き合うのかを考えます。

社会保険の適用拡大について説明する政府のパンフレット



業員適用健康10月から、厚生年金保険や適用範囲がこれまでの「従業員数101人以上の企業」から「従業員数51人以上の企業」に拡大される予定です。

会社で事務補助として働く35歳パートの事例をもとに、どのように対応したらよいのかなどを、特定社会保険労務士の井寄奈美さんがアドバイスします。

社会保険

10月から入らないとダメ？

10日(火) 総合面

竹橋の窓辺から

編集後記

英語を勉強中ということもあり、米大統領選のニュースが気になる。10日にハリス副大統領とトランプ前大統領の初めてのテレビ討論会が予定されていますが、全米では支持率がバーなどに集まって視聴する「ディベート・ウォッチ・パーティー」が開かれる。私も注目しています。支持率が伯仲する中でどんな論争を繰り広げるのか。もちろん、毎日新聞でも詳しく解説しますので、ぜひご覧ください。

(小野田香織)

毎日新聞